水俣湾・百間排水口は歴史的に貴重な文化遺産です。
原爆ドームのように修繕して現場保存してください。

環境大臣　　西村明宏様
熊本県知事　蒲島郁夫様
水俣市長　　高岡利治様

「水俣病の原点の地」とされる水俣湾・百間（ひゃっけん）排水口（水俣市）の樋門とコンクリート製の足場について、水俣市は市民に十分な説明責任を果たさず、市民の理解がないまま、老朽化を理由に撤去しようとしています。

百間排水口は、チッソ水俣工場がメチル水銀を含む排水を無処理のまま海に流し、水俣病を発生させたことを今に伝える貴重な歴史遺産です。子どもから大人まで、訪れた誰もが実感をもって水俣病の教訓、環境の大切さを理解することにとても役立っています。広島の原爆ドームと同様、世界的、歴史的に重要な文化遺産として後世まで残すべきです。

将来の子どもたちに水俣病の教訓、環境の大切さを伝えるためにも、百間排水口について、安全対策の修繕をしたうえで、周辺一帯を現場保存することを強く求めます。

水俣の歴史的遺構を残す会

事務局：水俣市昭和町 2-4-8　西田ビル 1F　きぼう・未来・水俣気付
メール：katotakeko@gmail.com　・電話：0966636741　携帯：09071562298

［2023 年 7 月 6 日現在の賛同団体・個人］水俣病胎児性小児性患者・家族・支援者の会
水俣・芦北・公害研究サークル　（一社）きぼう・未来・水俣　　水俣病不知火患者会

名前（なまえ）	住所（都道府県市区町村）